

14 垣本 美和 さん

Miwa Kakimoto



東紀州

日本土木工業 株式会社（南牟婁郡 御浜町）
専務取締役

事業所

住所：三重県南牟婁郡御浜町大字引作 141-52

社員数：22名

業種

総合建設業



Profile

- ・離婚後に 32 歳で再就職先探し
- ・建設業の事務員として採用
- ・会社初の女性取締役に就任
- ・女性技術者採用・職域拡大に意欲

講演・相談可能分野

- 仕事と家庭の両立 育ボス
- 人材育成 障がい者雇用 起業
- NPO 設立 多文化共生
- 地域資源活用 防災
- その他（キャリアアップ・キャリアデザイン
建設業の働き方改革）

講演実績

- ・2018年「社員に愛される会社とは～性別に関係なく、誰もが活躍できる会社に～」
（三重県中小企業家同友会中勢支部）
- ・2018年「若手後継者等育成事業（女性部）
研修会」（東紀州ブロック商工会女性部）

「私の使命」

学歴・資格・経験なし。ゼロからのスタート

「約 20 年前に入社した時は 32 歳でした。経理職は未経験、パソコンはまるでダメ。今や専務に昇進した垣本さんは、こう振り返り目を細めます。「任された→できない→けどやらなきゃ。その連続でした」。

その頃、会社は成長期。社員たちは現場作業に追われ、経費も利益も、誰も把握できていなかったとか。そこに採用されたのが垣本さんでした。夫に背中を押され、建設経理、施工管理などさまざまな資格を取得。「役員就任以降、制服の購入方法から就業規則まで思ったことを次々と提案させてもらいました」と微笑みます。「社員同士で『こうなったらいいよね』『こうしてほしいよね』と話していたことを、一つずつ叶えていったんです」。

女性技術者・現場監督も活躍できる職場！

同社は、2008 年度に三重県『男女がいきいきと働いている企業』の認証を取得。2014 年度には最高賞『ベストプラクティス賞』にも輝きました。厚生労働省『均等・両立推進企業表彰』では、2011 年度『均等推進企業部門 三重労働局長優良賞』を受賞。それらは建設業の女性採用と職域拡大などが評価されたものです。

「2006 年に『現場監督になりたい』という女性が面接に現れたんです。当時部長だった私は、彼女の採用の後押しができたことをとても嬉しく思いました。環境整備、セクハラ対策など取り組むべき点は多数ありましたが、「社長に『改善すれば“加点”です！ 受注優位になれますよ！』と日々アピールしていました」。

私流リーダーシップ

女性社員も「スキルアップ」。資格取得率 100%

女性監督が男性作業員を率いるのは、一朝一夕にできるものではなかったといいます。「それでも社長が根気強く、現場作業員に働きかけてくれました」。しばしば現場に足を運び、理解を求めたといいます。

一方、女性社員にも奮起を促しました。「女性も資格を取得しよう。資格を取れば手当 UP だよ！」と。挑戦の励みになるよう、今まで手当がつかなかった資格にも技術手当を支給する社内制度を、垣本さんは整備しました。制度整備の際に心がけているのは、“会社にとっても社員にとっても嬉しい”制度にすること。「勿体ないと思いませんか？ せっかく会社が新制度を導入しても、誰も喜ばなかったら」。垣本さんは社内を見渡し社員の様子を見守ります。

「同じ苦勞を、誰にもさせたくない」

垣本さんは「社員一人ひとりの心に余裕がある会社」を目指しています。「みんな、根はいい人なんです。でも優しくなれない時がある。心がささくれ立つのは『なぜ自分だけが』という目に遭っている時。誰かに負担が偏らないよう、注意して見守っています」。

発言の裏には自身の経験が深く結びついているようです。専務になった今でも役員室は使わずに、経理部で机を並べて仕事をし、社員たちを見守ります。朝一番の仕事は、熱中症対策用の清涼飲料水を用意すること。退職前には“清涼飲料水の氷”を準備して帰宅します。「だって薄まると美味しくないでしょう？」その姿は専務というより、“会社の母”のようでした。

（取材時：2018 年 8 月）

こんな講演・相談に対応できます

- 自身のキャリアアップ体験
- 社員が喜ぶ働き方改革のルール
- セクハラ改善の取組み事例紹介
- 建設業の女性活躍事例紹介

お問い合わせ先

三重県 ダイバーシティ社会推進課

TEL：059-224-2225

WEB：http://www.pref.mie.lg.jp/katsuyaku/index.htm

WEBは
ここから

